



ノートルダム大聖堂

ベルギー編⑤

ブリュッセル、ブルー
ジュに続いて最後に訪れ
たのはベルギー第二の都
市、アントワープである。
今回は街のシンボルと言
われる「ノートルダム大
中世に西ヨーロッパの中
聖堂」について書く。



塔の高さは138メートルもある

ノートルダム大聖堂は
パリにある大聖堂のこと
だと思っていた。「ノー
トルダム」とは、フラン
ス語で「私たちの貴婦
人」という意味で、聖母
マリアを指す。

カトリック教会は十二
世紀に聖母マリアへの崇
拝が強くなり、フランス
語圏の各地に聖母マリア
をたたえるノートルダム
大聖堂が建てられた。フ
ランスだけでもパリ、シ
ヤルトル、ランスなど八
カ所、ベルギーには三カ
所、ルクセンブルクとカナダに
一カ所ある。

ベルギーのノ
ートルダム大聖
堂の一つがアン
トワープの大聖
堂で、ルーベン
スの聖壇画の三
連作「マリアの
被昇天」「キリス
トの昇架」「キリ
ストの降架」が
飾られているこ

とで有名である。

大聖堂に入ると、正面
の主祭壇に「マリアの被
昇天」、左右の脇祭壇に
「キリストの昇架」と「キ
リストの降架」がある。
この大聖堂が日本で特に
有名になったのは、テレ
ビでアニメ「フランダー
スの犬」が放映されたか
らである。

貧しい少年ネロと愛犬
パトラッシュの物語に涙
したのは私たちの家族だ
けではあるまい。おじい
さんが亡くなり、住むと
ころがなくなったネロは
最後に大聖堂を訪れ、大
好きだったルーベンスの
「キリストの降架」の絵
を見ながら凍死する。
大聖堂の前にはネロと
パトラッシュの日本語の石
碑があった。この物語はイ
ギリス人の作家が書いた
もので、当初、ベルギーでの
知名度は低かった。しかし
日本人観光客が余りに多
く訪れるので、日本語の
石碑が作られたという。

私はル

ーベンス
の三連作
を見なが
ら、中世
のカトリ
ック教会
を垣間見
た気がし
た。

キリス
ト教は神
の子であ
るイエス
・キリス
トの復活
によって
我々もその永遠のいのち
の世界に入れるという復
活信仰である。とすれば、
中央の主祭壇はイエス・
キリストのどちらかの聖
壇画が飾られるべきと思
うのだが、「マリアの被
昇天」があることに、当
時はキリストよりマリア
が大切にされたことが表
れていると思うからであ
る。



ネロはこの絵の前で凍死した

ルターなどによる宗教

改革で、キリスト教はカ
トリックとプロテスタン
トに分裂する。その理由
はいろいろあるのだから
が、プロテスタントの人
たちがカトリックの人た
ちを「マリア教」と揶揄
（やゆ）したという話を
聞いたことがあるが、主
祭壇のマリアの被昇天を
見ながら、なるほどと思
う。それも一つの見方だ
がある。